



平成26年11月13日

各 位

会 社 名 株式会社 新日本科学
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 永田 良一
(コード番号: 2395 東証一部)
問 合 せ 先 代表取締役副社長 関 利彦
(TEL: 03-5565-6216)

**業績予想と実績の差異に関するお知らせ並びに
営業外収益（為替差益）及び特別損失（個別決算）の計上について**

平成26年5月13日に公表しております平成27年3月期第2四半期累計期間（平成26年4月1日～平成26年9月30日）の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、平成27年3月期第2四半期累計期間において下記の通り営業外収益及び特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成27年3月期第2四半期累計期間 業績予想と実績との差異について

(1) 連結業績予想数値との差異（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	8,505	△146	△430	△587	△14.75
実 績 値 (B)	8,054	△869	△522	△759	△19.08
増 減 額 (B-A)	△451	△723	△92	△172	
増 減 率 (%)	△5.3	—	—	—	
(ご参考) 前年同期実績 (平成26年3月期第2四半期)	7,819	△999	△733	△914	△25.87

(2) 個別業績予想数値との差異（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

	売 上 高	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	6,365	349	△304	△7.64
実 績 値 (B)	5,877	542	△592	△14.90
増 減 額 (B-A)	△487	+192	△288	
増 減 率 (%)	△7.7	+55.3	—	
(ご参考) 前年同期実績 (平成26年3月期第2四半期)	5,296	326	△776	△21.97

(3) 差異が生じた理由

(a) 個別業績

売上高は期ずれの影響などもあり前回予想を下回りました。一方で、経常利益は減収の影響はあるもの、円安の進行による為替差益を計上したことから前回予想を上回りました。四半期純利益は以下の通り特別損失を計上したことで前回予想を下回り、上記のとおり差異が生じました。

(b) 連結業績

個別業績の理由に加えて、米国前臨床事業において着実に受注を増加させているものの試験の開始時期の期ずれにより、売上高、営業利益、経常利益及び四半期純利益は前回予想を下回り、上記のとおり差異が生

じました。

なお、通期の業績予想は平成26年5月13日に発表した連結業績予想並びに個別業績予想と変更はありません。

2. 営業外収益（為替差益）の計上について

平成27年3月期第2四半期において、昨今の為替相場の変動により、営業外費用に為替差益470百万円（連結決算、個別決算では473百万円）を計上いたしました。これは、主に平成27年3月期第2四半期末時点における外貨建資産・負債を同日の為替相場で評価したことにより生じたものです。

なお、通期の為替差損益の額につきましては今後の為替相場の動きにより変動いたします。

3. 特別損失（個別決算）の計上について

平成27年3月期第2四半期において、当社の連結子会社について、将来業績が回復していく可能性を認識しつつも当該子会社の財政状態及び業績状況を勘案し、健全性の観点から投資損失引当金繰入額771百万円を特別損失に計上いたしました。

なお、当該投資損失引当金繰入額および関係会社貸倒引当金繰入額については、連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

以 上